

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# DOC+5FU+CDDP療法 《初日に5日分調製》

3 週毎 コース予定

疾患名 食道癌

主治医

指導医

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )

## スケジュール

			day1	2	3	4	5
フルオロウラシル	持続	3500 mg/m <sup>2</sup> /5日 【700 mg/m <sup>2</sup> /日】	↓	.....			→
ドセタキセル		70 mg/m <sup>2</sup>	↓				
シスプラチン		70 mg/m <sup>2</sup>	↓				

【注意】 \* 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法前日より輸液を行う。

\* シスプラチンは遮光すること。

\* ドセタキセル、シスプラチンはポンプを使用しないこと。

## 通常量より減量する際の理由

## (レジメン)

day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 10を内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保・維持(20 mL/時間)
- ② 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- day 1 - day 6 フルオロウラシル + 生食 1060 mL } 同時滴下
- 側管より輸液ポンプにて点滴静注 約120時間(10 mL/時間)
- ③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq  
点滴静注120分(250 mL/時間)
- ④ パロノセトロン0.75 mg + デキサメタゾン9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
- ⑤ ドセタキセル + 5%ブドウ糖250 mL・点滴静注60分(250 mL/時間)

- ⑥ シスプラチン + 生食300 mL 点滴静注120分(250 mL/時間)  
\* 生食200 mLをバッグから前もって抜いておく
- ⑦ 20%マンニトール 300 mL 点滴静注 30分(600 mL/時間)
- ⑧ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸K 10 mEq + 硫酸Mg補正液 4 mEq  
点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ⑨ 生食 500 mL 点滴静注 120分 (250 mL/時間)
- ⑩ オランザピン 5 mg 1錠 1×夕 内服(※糖尿病患者は禁忌)
- ⑪ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑫ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑬ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

Day 2- 5

- ① デキサメタゾン6.6 mg (2 mL) + 生食20 mL 側管静注
- ② ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ③ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ④ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間
- ⑤ ソルアセトF 500 mL 点滴静注 80 mL/時間

day 2, 3 アプレピタントカプセル (80 mg) 1C 1×朝 内服

day 2 - 4 オランザピン 5 mg 1錠 1×夕 内服(※糖尿病患者は禁忌)

DOC+5FU+CDDP療法<<初日に5日分調製>>

	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻		→	→	→	→
ドセタキセル 開始時刻					
シスプラチン 開始時刻					
確認					

	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻		→	→	→	→
ドセタキセル 開始時刻					
シスプラチン 開始時刻					
確認					

	day 1	day 2	day 3	day 4	day 5
月日	/	/	/	/	/
5FU 開始時刻		→	→	→	→
ドセタキセル 開始時刻					
シスプラチン 開始時刻					
確認					